

国際ロータリー第2520地区岩手第1分区

盛岡東ロータリークラブ

Weekly Report No. 27 (通算2000回)

Home Page : <http://www.moriokahigashi-rc.com/>E-Mail : jimukyoku@moriokahigashi-rc.com

会長 原田誠章 / 幹事 佐藤百合子
 事務所 〒020-8501 盛岡市愛宕下1番10号
 盛岡グランドホテル内
 TEL 019-601-5390 / FAX 019-601-5391
 例会場 盛岡グランドホテル
 TEL 019-625-2111
 例会日 毎週月曜日12:30 / 第3月曜日18:30
 但し、第3月曜日は(18:30～)会場が変更になる場合があります。

会長エレクト挨拶 工藤光機

皆さん こんにちは。
 本日は、会長、副会長ともに所用によりご欠席のため、ご挨拶いたします。
 最近、ニュースなどで連日、大雪の影響が報告されているところであり、転倒等に十分気を付けてください。
 仕事をしている中でも転倒のリスクがあります。先日、ニュースで岩手県の労働災害件数の統計などが報道され、転倒が原因となる割合が少ないことも報道されておりました。
 労働基準監督署のHP等でも転倒災害防止対策が公表されておりますので、ご参照ください。
 本日もよろしくお願いいたします。

次回プログラム

2月17日(月) 夜例会 18:30
 会場 樹里杏
 2月24日(月) 天皇誕生日振替休日 休会
 3月3日(月) 第9回理事会 昼例会
 卓話 木村昭仁会員
 3月10日(月) 昼例会
 卓話 浦田秀夫会員
 3月17日(月) 18:30 夜例会 すぺいん倶楽部
 3月24日(月) 昼例会 ゲスト卓話
 山梨ダルク代表理事 佐々木広 氏
 3月31日(月) 特別休会



2024-2025年度テーマ



国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック
 第2520地区ガバナー 佐藤剛(水沢RC)

昼例会

司会：瀧澤慶太郎
 日時：2025.2.10(月) 12:30
 会場：盛岡グランドホテル
 ロータリーソング
 我等の生業

湯下道雄さんからおたより
 皆様その節は送別会ありがとうございました。
 仕事はまだまだ慣れませんが、今日は休み
 なので自転車で市内の菜の花畑に来ました。
 朝晩は冷えますが、日中はさすがに暖かいです。
 そちらはまだ冬景色でしょうが、一足早い春の
 景色をどうぞ。



◇幹事報告 佐藤百合子

諸事お知らせ

地区大会ご案内

4月19日（土）諮問会議・会長幹事会

RI会長代理歓迎晩餐会 会場 プラザイン水沢

4月20日（日）大会本会議 13:00～16:00

会場 奥州市文化会館Zホール

大会懇親会 17:00～18:30

会場 プラザイン水沢

2025-26年度ロータリー手帳注文お知らせ

仙台宮城野RC創立30周年記念式典祝調のお礼状

◇委員会報告 親睦委員会 工藤光機

家族親睦いちご狩り 4月5日（土）彩花園の予定

◇スマイル報告 本宿将大

佐藤百合子君

皆様お疲れ様です。

柴田茂君

コロナ・インフルに気を付けてください。

県遊戯協同組合（工藤嘉理事長）が盛岡市内の児童養護施設と子ども食堂に募金や食材を贈呈。と新聞で拝見しました。素晴らしい活動です！

木村昭仁君

おめでとうございます。

誕生日2月1日です。

元気になりました！

佐藤誠司君

おめでとうございます。

誕生日2月22日です。

本日も宜しくお願い致します。

瀧澤慶太郎君

おめでとうございます。

ご夫人久美子様誕生日2月9日

お花ありがとうございます！

◇出席報告 佐藤賢司

会員数25名 出席数10名 欠席数15名 出席率40%

個人寄付金 R財団：柴田茂 木村昭仁 佐藤誠司

米山記念奨学会：柴田茂 佐藤誠司

クラブ協議会 浦田秀夫

柴田ガバナー年度役員並びに会長選出について

皆さんのご協力お願いいたします。

柴田ガバナー（2026-27）年度 案

会 長 佐藤誠司

副会長 木村昭仁 浦田秀夫

翌年のガバナー補佐 案

工藤嘉

高橋耕

大橋正和

【ロータリー平和フェローが見たウクライナ】

寄稿者：井上悦子さん（元R平和フェロー・第2660地区茨木東ロータリークラブ推薦）

財団ニュース2月号より抜粋

新天地はヨーロッパ

私は3年前の5月、6年間過ごした常夏のケニアを離れ、未知の国、東ヨーロッパのウクライナの首都キーウ（キエフ）に到着しました。初夏のキーウは夜の9時ごろでもまだ太陽が出ていてカフェやレストラン、バーもたくさんの人々でにぎわっていました。治安が良いとは決していないケニアのナイロビから来た私は、まず街中を自由に歩ける開放的な雰囲気感動し、緑豊かな公園、歴史ある建築物がたくさんあるキーウを歩きながら「ああ、ヨーロッパに来たんだ」とウクライナという新たな赴任地にわくわくしたのです。私は大学を卒業してからは日本のNGO職員として、ラオスとカンボジアで農業や教育支援、平和構築の事業を調整する仕事をしていました。やがて、もっと専門性を高めて多国籍の人たちと共に国連で働きたいと思ったその時、ロータリーの奨学金のことを知り留学が実現しました。その後、国際移住機関（IOM）に就職しウクライナに来て充実して働いていました。

紛争復興支援に関わる

私の勤務するIOMは人の移動に関する専門の組織です。これまで約12年間勤務し、ウクライナ事務所では人身取引被害者の保護支援およびウクライナ東部紛争による避難民・紛争の被災者への復興支援のプロジェクトマネジャーとして仕事をしています。ウクライナはヨーロッパの穀倉地帯とも呼ばれる農業国ですが、ヨーロッパの中でも経済的には最貧国であり多くの人たちがポーランドやドイツなど国外に出稼ぎに出ています。約300万～500万人もの人が国外で働いているとされ不当な扱いや労働搾取の被害に遭う人も少なくありません。IOMはそのようなウクライナ人の帰国支援、帰国後の自立のための支援（職業訓練、心のケア、一時避難所の提供、法的支援など）を行っています。また、昨年から、2014年に始まった東部の紛争の被害地域で、女性や若者への小規模ビジネスの起業支援や、地元住民と国内避難民との融和、平和促進のための活動を担当しています。紛争から時間がたっていたので、緊急支援というよりも持続的な平和、地域振興を目指す長期的な取り組みに移行していました。

親日のウクライナ

紛争地であったウクライナの東部地域に出張に行くこともあり、現地のウクライナの人々と直に接してきました。地方である地元で雇用の機会がなく若者の多くが都市や国外に移住していることが懸念される一方で、もっと魅力的な街にしたいんだと意欲に満ちあふれている人々にもたくさん出会いました。地元が好きでより良くしていきたいという強い思いを持つ人々の姿には心を打たれたものです。日本からは遠いウクライナですが意外なことに日本のことはよく知られておりとても良い印象を持ってくれていると感じます。まず食文化。キーウには至るところに寿司店があります。多くがのり巻きでクリームチーズが入っているのがウクライナ風。ラーメン店もあります。イタリアンレストランかと思うとメニューに寿司や日本酒があったりします。驚いたのは紛争地域のウクライナ東部の奥地に行った時も小さな町に日本レストランがあり、そこで食べたのはサーモンや鰻の寿司でした。柔道や空手、アニメも知られており特にジブリ映画は人気があります。

平和の尊さと、もろさを実感

2014年以降、国境付近ではロシア軍とウクライナ軍の間で緊張状態が続き、死傷者が出ることもありました。その他の街では何事もない日常が続いていました。本当に日本で見られる風景と変わらない日々がそこにはあったのです。2022年2月24日まで、私も含め多くのウクライナ人の同僚、知人は全面戦争になるとは思っていませんでした。マスコミでの報道と日常のギャップには戸惑うばかり……。ところが、一気に情勢が緊迫し、現代において国家間の戦争がこんなに簡単に始まってしまったのだと驚かされ、続いて、恐怖、絶望、怒りと、いろいろな感情が交ざり合って押し寄せました。私たちが当たり前に享受している平和がいかに尊くて、もろいものかということを実感しました。

誰も戦争を止めることができず、罪のない人々が犠牲になっていく。素晴らしい歴史と文化を残す街並みがいとも簡単に破壊されている様子を見ると、無力さを感じずにはいられません。ウクライナの自然は実に美しく、本当に魅力に満ちあふれた国です。東部の町のホテルやレストランで出会ったスタッフ、キーウのアパートの向かいのカフェの店員、寿司店のお兄さん、スーパーのレジ係のお姉さんやお兄さん、犬の散歩でよく出会った人々、お世話になった歯医者や病院の先生、みんなどうか無事でいてほしい。戦争が終わったとしても、復興までの道のりを思うと、途方に暮れてしまいそうですが、ただ傍観するのではなく、平和フェローの一人として、積極的に平和への歩みを手助けするしかありません。ウクライナは遠い国ではなく、そこには確実に私の日常があったのです。まずは一日も早く停戦が成立し、ウクライナに平和が戻ってくることを願わずにはいられません。